

本校では、例年、シンガポールの名門校、Hwa Chong Institution（以下 HCI）と短期交換留学を行っています。しかし、昨年度より新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため交換留学を一時停止しています。そこで、学びの機会を継続するため、同時期に HCI と交流プログラムを行なっている筑波大学附属高等学校とも協力し、3校によるオンライン交流（Zoom 使用）を行なっています。今回は、昨年度の交流内容をさらに発展させ、英語研修なども新たに取り入れながら、より深い学びのある交流会を目指しました。

本校からは高等部2年生の5名、筑波大学附属高等学校から7名、HCI から12名の生徒が参加しました。

### <プログラム内容>

#### ① 事前交流

バディーマッチング、自己紹介動画の交換

#### ② 情報交換

プレゼンテーション動画（それぞれの国の文化や生活・学校について）の作成、交換

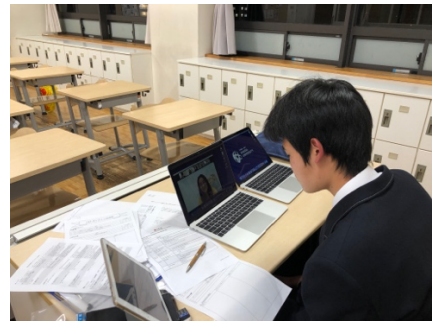
#### ③ 事前学習

- ・シンガポールについての調べ学習（書籍やシンガポール政府観光局からの資料を用いて）
- ・ディスカッションに向けた準備



④ 交流当日 11月24日 午後

- ・アイスブレイク
- ・グループトーク（事前に共有されたプレゼンテーション動画の内容について）
- ・グループディスカッション（TOPIC：“Stereotypes”）→ 話し合った内容を協働でまとめ、発表
- ・全体ディスカッション
- ・オンライン集合写真、生徒代表挨拶など



⑤ 事後交流

バディーとの手紙交換、SNS を通じての交流

⑥ 事後学習 英語集中トレーニング（協力：（株）アイエスエイ）

- ・英国ネイティブ講師による2日間、計400分、オールイングリッシュの授業
- ・ブレインストーミング(リスティングとグルーピング)、ディスカッションの手法、論理的な意見の述べ方、異文化理解、日本文化の紹介、イギリスと日本に関して類似点と相違点など



過去の交換留学プログラムの様子はこちらです！



- ・2019年11月 受け入れの様子

<https://www.kansai-u.ac.jp/senior/2019/12/post-488.html>

- ・2019年3月 訪問の様子

<https://www.kansai-u.ac.jp/senior/2019/03/post-443.html>

Hwa Chong Institution のホームページはこちらです！

<https://www.hci.edu.sg>

### <生徒の感想>

・このオンライン交流では、5つのグループに分かれて自己紹介や雑談をした後にステレオタイプについてディスカッションをしました。グループのメンバー同士で事前にLINEで繋がりコミュニケーションをとりました。交流後も連絡を取り合えば良いと思います。オンラインということで話づらいところもあるのかと思っていましたが、グループのメンバーがフレンドリーだったので発言しやすい雰囲気の中、活発なディスカッションができました。シンガポールには様々な文化があります。その国の人々とステレオタイプについて話すことで、世界は日本人の持っているイメージ通りなのか、世界から日本はどのように思われているのか理解することができました。グループでディスカッションした内容が全体で共有されることで、より広い考えが生まれたと思います。また、自身の英語の課題についても気づきがあり、今後の学習に活かしていきたいです。オンライン交流に参加でき良かったです。

・今回のHCLとのオンライン交流会ではバディと共通の話題で盛り上がることができました。例えば、ユニバーサルスタジオは日本とシンガポールのどちらにもあるのでそれらを比較したり、自分の国の好きな食べ物について話したりしました。ディスカッションではステレオタイプについて話し合いましたが、ステレオタイプに対する感じ方、考え方は私と筑波とHCLの生徒でかなり似通っていたように思いました。シンガポールから見た日本の印象についても聞いたこともすごく勉強になったと思います。これからも筑波、HCLのバディとSNSなどで交流を続けていきたいです。

・コロナ禍で留学の機会が無くなり、大変残念に思っていたのですが、オンライン留学で自分の英語力を試す機会があって良かったです。プログラムに参加するにあたり、自分の英語力に不安がありましたが、メンバーのフォローのお陰で楽しく交流できました。また機会があれば是非参加したいです。

今回のオンライン交流では、生徒たちは目的意識を持ってしっかりと取り組んでくれました。この状況の中でも、「英語でコミュニケーションをとる」、「異なる背景、価値観の同世代と意見交換をする」、「日常の中では知ることができないような知識・気づきに出会う」といった国際交流の醍醐味をしっかりと楽しみ、学ぶことができました。また、英語力だけではなく、リーダーシップや相手から意見を引き出す力、思考力や論理の組み立て方など、これからの国際社会で活躍するために必要なスキルを、HCL生や筑波大学附属高等学校の生徒たちから学び取っていたように感じられました。

今後も、本校としては、時代の変化に柔軟に対応しつつ、国際社会で活躍できる人材育成のため、生徒主体のプログラムを展開していきたいと考えています。